

# なんかい



江戸時代の近江商人の経営哲学に「売り手よし、買い手よし、世間よし」のいわゆる「三方よし」があります。「三方よし」とは、売り手や買い手側が満足するだけでなく、社会にも貢献できてこそいい商売だという考え方です。最近では、この三方に「働き手」を加え「四方よし」とも云われているようです。この哲学をそのまま私たちの業界に置き換えれば、「法人よし、利用者よし、職員よし、地域よし」といったところでしょうか。

私事にはなりますが、現在の職をお預かりして、10カ月が経過し、初めて新年度を迎えました。昨年7月の就任以降、職員の皆さんには、「四方よし」（とは言っておられません）と同様の理念や方針をメッセージとしてお伝えし、その価値観に基づく様々な改革にも少しずつですが着手してきました。職員等へのアンケートやヒアリングによって現状の課題や問題点を浮き彫りにし、必要と思われる措置を講じております。（支援手順や方法、職員の就業時間などの見直し・再構築）しかし、その全てが職員の皆さんに迎合されたわけではありません。他方で合意に至らず断行できなかったもの、あるいは棚上げした案もありました。

管理者としてまだまだ力不足で若葉マークが外れませんが、青臭くても「利用者本位」という普遍的な理想を常に持ちながら、その中でもしっかりと働き手や地域、経営の視点を持った「四方よし」の実現を目指して日々学び、悩みながらも奮闘しているところです。

## 現場より スキルアップでよりよい支援を

支援員 大中 佑介

令和2年5月より18か月間において、日本的障害者福祉協会主幹の社会福祉士養成所（通信課程）へ入講し、社会福祉における制度を中心に学びました。私が入講する上で、単に社会福祉士国家試験の受験資格を取得するだけでなく、社会福祉に従事する人材として、制度なども含めより深く社会福祉について学びたいという思いからでした。

受講期間中は、予め定められている課題のレポート提出が求められますが、私自身、期限内に提出する事は、入職した頃からの改善を求められる課題でもあり、日々の業務を行いながらレポートが完成するだろうかなど不安もありました。この様な不安を解消するために余裕を持ったスケジュールを調整し多大な課題に対して早めに着手する事を目標に掲げ、休日や出勤前の時間を利用し課題に取り組んできました。無事に課程を修了した現在では自身のスキルアップに欠かす事の出来ない時間であったと感じています。

私が社会福祉に従事して13年になりますが、その間、障害者自立支援法が障害者総合支援法へ改正されるなど様々な制度改革がなされています。日々変化する制度の中で従事する

私たちは制度を理解した上で利用者支援にあたらなければならぬと思います。特に近年では社会福祉法の一部改正を経て「地域共生社会」の実現に向けて、市町村における包括的な支援体制の整備が求められています。施設という枠組みで隔離されるのではなく、一人ひとりの可能性を信じ、社会を形成する一員として積極的に地域社会に進出出来る様にサポートする事が私たちの求められている責務ではないかと思っています。

当法人も公共性や公益性といった社会福祉法人としての社会的責任を自覚した上で、地域ニーズに応じた事業の展開を運営に掛けています。専門職の資格を得たうえで尽力していきたいところでしたが、一発合格を狙った国家試験は基準に14点及ばず無残にも思いは散ってしまいました。来年こそは、本紙で吉報をお届けできればと思います。



## 医務だより

### ワクチン接種状況について

看護師 原田 公子

2020年1月、国内で最初に新型コロナウイルス感染症が確認され丸2年。未だに毎日のように感染者の報告が続く、利用者のご家族の方には面会制限などご理解頂きありがとうございます。

当施設利用者の予防接種は、希望された利用者の方全員2回目まで終了しております。てんかんなど基礎疾患をお持ちの利用者の方も多くいらっしゃる為、予防接種後の副反応に注意し、検温の回数を増やし、異常の早期発見に努めて参りました。幸い発熱以外の副反応は見られず、ほっとした所です。

現在、65歳以上の利用者の方は、3回目を2月下旬から3月上旬にかけて終了されました。発熱された方が数名いらっしゃいましたが、食事や水分を摂る事ができ、その他の副反応は殆ど見られず、無事に終了する事が出来ました。

65歳未満の利用者の方は、4月下旬から3班に分けて予定されています。

す。

65歳未満の利用者の方も2回受け、 $37.5^{\circ}\text{C}$ ～ $38.0^{\circ}\text{C}$ 後半の熱が出られた利用者の方が数名いらっしゃいましたが、その他の副反応は見られず経過されました。

施設職員は、順次病院から案内が来ており、3回目を受けている所です。高熱や倦怠感・頭痛など副反応が出て、数日休みをとる職員も複数名おりました。利用者の方の支援に支障をきたさない様、勤務調整を行ない業務に当たっております。

65歳未満の利用者の方の3回目は、2回目より副反応が出る可能性があります。今まで以上に注意を要する為、病院の方と密に連絡を取り予防接種を受けれるよう準備をして行きたいと思っています。

国は4回目の予防接種を推奨しているとの話も出ています。いずれにせよ、利用者の方の健康管理に今後も努めて行きたいと思っています。

今後面会制限など、ご家族の方にはご不自由おかけします。ご理解ご協力よろしく  
お願い致します。



# きらりと光る



## スタッフ紹介



岡部誠（おかべまこと）  
昭和53年12月から40年  
支援員として従事。8年前に6  
0歳で定年退職を迎えたが、そ  
の後も雇用継続で利用者の支  
援や後進の育成にあたってい  
る。

●南海寮の昔と今で変わって  
きていますか？

今入所されている利用者さんの中には、自分が勤め始めた頃はまだ成人式を迎える前だった人もいて、あの頃は皆さん若くて元気だったなと思います。そう思うと皆さんとは長い付き合いだなと思います。

以前は屋外や室内作業などをするのも、活動をするのもみんな一緒のものをすすめることが多くありましたが、今は利用者さんのやりたいものを選んでもらったり、その人の年齢やペースに合わせて作業や活動をすすめるようにして、関わり方も以前と変わってきていると思います。

●利用者さんとの印象的な  
エピソード等あれば

沢山ありすぎてどれとは言えませんが、旅行やキャンプ、海水浴や潮干狩り等沢山の行事を利用者さんと楽しんで思い出があります。運動会があった時は仮装行列も恒例で職員が趣向

を凝らして作っていたし、忘年会では利用者さんも合唱や合奏を披露したり、職員が何か出し物をして利用者さんに喜んでもらっていました。

●プライベートで楽しんでいる  
ことややりたい事

釣りが趣味で防波堤からの釣りを時々楽しんでいます。また、地元の土人形保存会の活動にも参加して「やまんば」や干支の土人形作りを手伝っています。やりたい事は、コロナが落ちてけば家族で旅行にも出かけたいと思っています。

●後輩スタッフに期待すること

利用者さんも多様化してきているので対応が大変だと思うが、支援する職員はもっと福祉の勉強しなくてはいけないと思っています。以前は外部での勉強会等あり職員が自主的に参加していました。色々な機会を使って知識を身に付けて欲しいと思います。また、利用者さんと過ごす時間、話す機会をもっと多く持つて欲しい。

利用者さんは何か話したり、関わりたいと私たちの事を待っているので利用者さんを理解する為にも沢山の関わりを持って欲しいと思います。

●お話を聞いて・・・

今から数十年前の利用者さんの様子やその頃のイベントなどについてのお話は興味深く、南海寮の歴史や利用者さんの知らない一面を知ることが出来ました。定年後も現役でなお活躍され、利用者さんからの信頼も厚いその姿に、私たちは沢山の事を学ばせていただいています。



# あいむだより

こんにちは、この度、通所センターあいむは1周年を迎えました。

この一年間を振り返ると、世界情勢もですが、あいむでも色々ありました。

コロナ禍が続き、みなさんが特に楽しみにされている外出や外食等には出掛ける事ができませんでしたが、皆でアイデアを出し合い、あいむ独自のイベントを実施しました。

そこで今回は一年間行ったイベントの様子をお写真で紹介させていただきます。

皆さんが楽しんでいる様子をご覧くださいませ～

今年度、新しい仲間も増えましたので、これまで以上に笑顔溢れる日々となり、また世界が平和になりますように。

これからも**通所センターあいむ**をよろしくお願ひします。



味千ラーメンボランティア



紅白歌合戦



かき氷の日～スイカ割り



いらっしやい～屋台の日



あいむ自治会長選挙の日



ハロウィン～お菓子の日



クリスマス会～合唱・合奏



春が来た～春が来た～



クリスマスレクリエーション

2022年5月1日発行／南海寮広報委員等

なんかい

■ご高覧いただき、ご意見・ご感想などありましたら [keiyukai@cup.ocn.ne.jp](mailto:keiyukai@cup.ocn.ne.jp) までお寄せください。

■広報誌「なんかい」はホームページ <http://www.nankaiyou.or.jp> からご覧いただけます。